



代表取締役
中山 雅美

孫を見る娘の目が優しくて、その様子に癒されています。誕生してそろそろ1年になるのですが、娘家族がやってくると、私は孫を見ている時間よりも娘を見ている時間が長かったように思います。

体重が増えればうれしく、意味がわからず泣かれ続ければ困り果て、最近は這ったり、伝い歩いたり、啞語を発したり、自己主張が出てきたり、我が愛猫のしっぽを引っ張ってちょっぴり引っかかれたときは泣かずに我慢したり、そんな数々のシーンで気づくと娘を見ています。

長かった長かった私の子育てのレスポンスがようやくあったように思います。仕事のレスポンスの何倍も何十倍も長い月日を要して。ありがとうございます、しあわせそうで。



テープおこしから印刷へ ~ご存知でしたか？アドレスの印刷製本サービス~

「テープおこし」を主力商品とするアドレスでは、モノクロからフルカラーまで冊子の印刷・製本のサービスも承っています。形態もハードカバーの装丁から簡単な製本、小ロット対応のオンデマンド印刷までさまざま。さらに、紙媒体だけではなく、PDFでの出力やPDF文書を利用したCDブックの作成にも対応しています。

また、校正文書を仕上げる際に手間となる、用字用語や表記の統一（「第13回／第十三回／第一三回」、「高澤／高沢」、「下さい／ください」「コンピュータ／コンピューター」等）についても、「テープおこし」をドメインとするアドレスならではのサービスがご利用いただけます。報告書の作成までワンストップで依頼できるでメリットをぜひご活用ください。



テープおこし

講師校正

校正反映・表記統一
レイアウトデザイン

報告書印刷物

2010.02.14



ADDRESS VOICE No.39

～ばらまき！バレンタインは最後の聖域号～

アドレス・事業本部／〒921-8147 金沢市大額1-342-3
TEL.076-298-8585(代) FAX.076-298-7665
URL:<http://www.adrs.co.jp/> E-mail:office@adrs.co.jp

バレンタイン特集

～バレンタイン成功談・失敗談～

Succes

小学生のころ、バレンタインデーにもらったチョコレート数学年1位を記録し(14個)、一人浮かれていますが、女子からはきっちりとお返しを請求され、結局多額の出費に。男性の皆さん、ホワイトデーのお返しは忘れずに

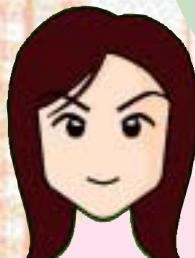
TTL制作部 相京



去年のバレンタイン、チョコレートは購入したもののが気がなく、あこがれの人に渡すことができませんでした。自分で食べるのもこれまた寂しいので、後日、大学時代の友人と会う機会があり、彼にそのチョコレートをあげたところ、「なになに? わざわざ買っててくれたの?」との言葉…。本命に渡せず寂しくバレンタインを送ってしまったことを悟られたくない一心で、「ううう~ん。そうだよ…。今買ってきたの(?)」と、言ってしまった乙女心。

皆さん分かりますよね(?)?

営業部 吉田



小さなころから、祖父へのバレンタインチョコといったら、ウイスキー・ボンボンでした。母の「じいちゃんにはウイスキー・ボンボンね」の一言から始まって、じいちゃん=ウイスキー・ボンボンの歴史はだいぶ長かったように思います。2年ほど前に、父方の祖父が他界しました。筋金入りのくいしんぼうで、甘い物も大好きだったじいちゃん。バレンタインのときにチョコレートを渡されると、うれしそうに笑っていたのを思い出します。

顔があ猿さんに似ているので、ウイスキー・ボンボンを食べたら、顔が赤くなってしまってあ猿になってしまうのではないか、また、それがあもしろいなと思いながら、ウイスキー・ボンボンをあばる、じいちゃんの横顔を眺めていたこともあります。今年は、天国で心待ちにしているであろうじいちゃんにも、ウイスキー・ボンボンを供えてあげようかな。

TTL制作部 高平

手作り物をプレゼントする方も多いと思いますが、商品のように洗練されていくなくても、ホームメイド感があふれた食感や気持ちがうれしいですね。昨年のバレンタインは、はちみつレモンパウンドケーキを作ったのですが、あげた人に「固い。」と言われました。お菓子作りは難しい! 私にとってバレンタインは、不器用な自分と向き合う機会でもあります…。

営業部 平



私は小学校時代にサンフランシスコに住んでいたのですが、アメリカの小学校では、バレンタインデーに既製品のチョコレートをミニ封筒にメッセージカードと一緒に入れて、男女関係なく皆で交換し合う習慣があります。それは大して注目もされない軽い行事なのですが、日本から来た私は意識してしまい、好きな相手のチョコレートを少しだけいいものにしたのですが、それが周りにばれてしまった苦い思い出があります…。

営業部 駒井

高校2年生のとき。隣のクラスのK君と、廊下ですれ違っただけでどきどきして真っ赤になっていた私。もちろん会話などあるはずもなく、それでもその日は一日浮かれていたのです。バレンタインデーに、思い切って名無しのチョコをそっと机に忍ばせました。きっと私だと気付いたのでしょうか。翌日、移動教室へ向かうK君と目が合うと、K君は恥ずかしそうににこっと笑いかけてくれました。ところが、恥ずかしさのあまり、私はにこりともせずにそっぽを向いてしまったのです。そのあとすぐに父親の転勤が決まって、K君には何も言えないまま私は転校しました。今でもときどきにこっと笑うK君の顔が、純情だった自分とともに脳裏に浮かんできます。

TTL制作部 石藏



チョコレートの高級化が進んだのはここ10~15年くらいでしょうか、それ以前は国産品が主流でいらっしゃもまちまちだったように思います。ある年、彼女からもらったチョコレートは、かたちはかわいいのですが、チョコと砂糖を不用意に練り合わせたような、チョコというよりも砂糖菓子、いや、むしろ砂糖菓子ならばチョコ抜きで砂糖菓子として戴きたいという代物。思わず、「不味い」とつぶやいてしまいました。彼女も一口かじり、その何とも言えない風味には納得してくれたのですが、その時の彼女の顔といったら…。ま、その後、ちゃんと一緒になっていますから許されるだろうと私は思うのですが、さにあらず、あれからこの季節になると今でも詰(なじ)られています。合掌。

営業部 草光



Failure